

新エネルギービジョンの導入目標と導入状況

	当初(H23年度:2011年度)		現状(H26年度:2014年度) H27年3月末時点		目標						
					4年後(H27年度:2015年度)		10年後(H33年度:2021年度)				
太陽光発電	設備規模 (kW)		設備規模 (kW)		設備規模 (kW)		設備規模 (kW)				
	25,988	住宅・事業所	25,988	196,050	小規模太陽光	59,468	111,750	小規模太陽光	86,000		
		(国の補助実績等により推計)			(国の補助実績等により推計)			(年間1,500件×4年×平均4kW増)		(年間1,500件×10年×平均4kW増)	
		メガソーラー	0		大規模太陽光	136,582		大規模太陽光	61,750	大規模太陽光	105,750
					うちメガソーラー	50,575		うちメガソーラー	28,000	うちメガソーラー	42,000
		うち10kW以上1MW未満	86,007	うち10kW以上1MW未満	33,750	うち10kW以上1MW未満	63,750				
風力発電	36,450	7箇所、40基	36,150	6箇所、39基 ※室戸風力発電所(1基300kW)廃止	71,450	35,000kW増 (2,500kW級 14基増)	151,000	80,000kW増 (2,000kW級 40基増)			
小水力発電	2,459	7箇所	2,609	8箇所	2,459	—	3,800	合計1,300kW増 800kW(地藏寺川)+500kW(努力目標)			
木質バイオマス発電	0	専焼施設なし	12,750	2箇所 ※設備規模はFIT認定容量	12,300	・専焼12,300kW増 全て県内木質燃料使用を想定	17,300	・専焼5,000kW増 全て県内木質燃料使用を想定			
	133,000	混焼133,000kW 県内木質燃料使用比率を約0.6%とし電力量のみ反映	162,500	・混焼133,000kW 県内木質燃料使用比率を約0.6%とし電力量のみ反映 ・バイオマス発電29,500kW(※) (電力量に反映せず)	153,000	・混焼20,000kW増 ・混焼133,000kW 県内木質燃料使用約0.6%とし電力量のみ反映	153,000	・混焼20,000kW増 ・混焼133,000kW 県内木質燃料使用比率(約0.6%)とし電力量のみ反映			
計	64,897	kW(木質混焼分を除く。)	247,559	kW(木質混焼分を除く。)	197,959	kW(木質混焼分を除く。)	363,850	kW(木質混焼分を除く。)			

新エネ発生電力量(推計)^{注A} 107 百万kWh 365 百万kWh 334 百万kWh 595 百万kWh

県内電力需要(平成18~22年度平均)^B 4,674 百万kWh 4,674 百万kWh 4,674 百万kWh 4,674 百万kWh

A/B= 2.3 % A/B= 7.8 % A/B= 7.1 % A/B= 12.7 %

※バイオマス発電(1施設)
混焼29500kW
【主燃料】PKS(パーム椰子殻) 【補助燃料】石炭

注)新エネ発生電力量 = 発電種別毎の規模 × 稼働時間 × 設備利用率 ※にて算出
※設備利用率:太陽光12%、風力20%、小水力61%、バイオマス70%で算出